

2003年度 第5回 運営委員会議事録

日時：2004年1月24日(土) 12:30～15:00

場所：バーズ教育センター 第2会議室(107教室)

出席者：大谷運営委員長、齋藤総務担当運営委員、福田副総務担当運営委員、岩渕会計担当運営委員、矢橋校長、館野運営委員、アントナッチ運営委員、糟谷運営委員、松本運営委員、田村領事鶴岡会計監査委員、小松商工会教育部長、村野事務長、中山副学級委員長

1. 開会の言葉・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 齋藤総務担当運営委員
2. 運営委員長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 大谷運営委員長

報告・確認・協議事項

A) 学校の状況報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 矢橋校長

在籍者数の報告

新学期445名でスタートしたが、今日現在395名の在籍とかなり児童生徒数が減っている。

主任会の報告(12月13日)

子ども達の様子は概ねOK。ドアの施錠の注意等を始業式の朝礼で話をした。
各行事・話し方・弁論大会、卒業式方針の協議と、ブックフェアの反省を行った。

ブックフェア 来年度も続けていただきたい。保護者のボランティアが良かった。改善点についてもいくつか指摘された。

漢字検定について - 2月7日実施。申し込み数は73名で2級から初10級までの受検者がいる。検定料の合計は\$1,086で控除額(\$162.90)が事務費として学校にいただける。事前に所連絡を「はなみずき」で通知する。

来年度のクラス数 1月24日現在の進級調査書数と学級編成方針(案)を基に素案を練ってみた。今日現在356名が進級希望をしているので結果は18クラスとなる。現在は21クラスあるが、現時点では新年度は3クラスの減となる。今後は第2回目の合同オリエンテーション、保留をしている児童生徒への再度確認を行い、2月末にはクラス数を確定し運営委員会に具申したい。スクールカウンセラーの候補者が見つかри、新年度から勤務していただくよう交渉中。

B) 学級委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 館野運営委員

来年度の各種委員を決定するため、現学級委員の意見を聞き決定した。1月10日「クラス委員選出についてのお願い」の用紙を各家庭に配付した。中・高等部の候補者を先に選出し、見つかリ次第予備機関を設け、各種の委員を決定していく。委員の数は現行のクラス数で選出しておく。今回試験的に選出方法をクラス単位ではなく、学年全体から選出する方法を採用した。

最初に各種当番表の作成者の立候補者を決定し、最終決定を2月21日とし、事務局に連絡。各種当番作成委員は決定し、事務局に連絡済み。

運動会が5月当初に開催されるので、運動会委員候補者は、3月末に会合をもつ。

C) 図書委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・アントナッチ運営委員

各図書委員にまとめを提出してもらったので、次期ブックフェア - に反映したい。

- ・ 値段の設定が良かった。
- ・ ベークセールを定例化したい。
- ・ 残った本が多かったなので、今後は寄付の時点で選別選別していく。本によってはお返しすることもある。
- ・ 残りの本はジャパンフェストで売るほうが、売れる確率が高いのではないか。
- ・ 売上金合計 \$ 1 3 6 5 . 0 0 (ブックフェア - ・ベークセール・中学生のベークセール) 細かいことは次年度に引き継いでいく。

保護者に協力をいただき、ホームページで本の検索を出来るようにした。

D) 商工会からの報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・小松商工会教育部長

今後のジャパンフェストの運営方針について(商工会会合より)

- ・ ジャパンフェストのマナー化を防ぐため、年毎にテーマに沿った展示やイベントを行う。
- ・ 各企業の労力の負担を軽減していく。必要な費用は、ジャパンフェストの支出で賄う。
- ・ アメリカ人のボランティアを増やしていく。

学校主催のバザー運営について

- ・ 2004年度についてもジャパンフェストのバザーの参加をする。
- ・ 2日間の参加は無理なので、例年通り日曜日だけの参加となる。
- ・ 品物の確保、寄付品の運送方法など、今後検討が必要。(運賃の削減方法など)
- ・ その他、気づいた点、意見があれば運営委員各自で小松商工会部長まで連絡をする。

Educators to Japan Program について

- ・ 学校からの派遣者の人選を行い、商工会に連絡をする。
- ・ 2003年度の決済報告がジェットロから届いた。(諸経費総額 \$ 3 6 7 0 . 0 0)

E) 30周年記念事業関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・福田副総務担当運営委員、田村領事、中山副学級委員長、矢橋校長

2回に亘って行われた準備委員会の進捗状況

次年度実行委員長(運営委員長)、副運営委員長(校長)、総務・会計担当(事務長)

30周年委員長(中山副学級委員長)、教師代表(松井主任)

- ・ 12月が創立記念の月なので、新学期から12月にかけて各行事を遂行していく。
- ・ クラス実行委員について - 選出をはじめ、立候補がない場合は、各クラスの学級委員に一任。
- ・ 記念品製作と配付 - 運動会用に児童生徒に紅白のTシャツを配付する。デザインは生徒会に依頼し、運営委員会と決定する。(1月31日に会合を行う。)(予算 \$ 3 5 0 0 . 0 0)
校歌をCDに吹きこみ各家庭に配付。(予算 \$ 2 0 0 0 . 0 0)
- ・ 学校への記念品の製作 - 校旗(2枚)(予算 \$ 6 0 0 . 0 0)と学校の看板。
看板は商工会からの寄贈とさせていただきます。

- ・ 記念誌の制作 - 20周年の冊子に後の10年間の写真等を加え20年間の小冊子を編纂する。表紙に生徒のデザインを採用する件も検討。
- ・ 記念講演の開催 - アトランタ総領事館の田村領事を通じ、宇宙航空研究開発機構宛に宇宙飛行士の講演を依頼するため、宇宙飛行士講演申請書を提出している。創立30周年の記念行事で、宇宙飛行士からの話をおし、子ども達に夢を育むことをねらいとする。時期は10月、11月の土曜日を希望。回答は1月末か2月初めに届く予定。
(予算\$1300.00)
- ・ 研究協議会・公開授業 - 他校から派遣教師として来ている校長を講師として迎え、指導力の向上を目的とする。意見の交流、教科における指導方法についての質問の時間も設ける。講師の手配は各校長、文部科学省へ確認済み。(予算\$1000.00) 研究協議会・公開授業については、アトランタ総領事館の管轄する補習授業校全てに参加の呼びかけをする。
- ・ 記念式典 - 12月の終業式と兼、総領事、商工会会長からご祝辞をいただく。
- ・ 作文コンクール(領事館主催) 30周年記念の年として、ジョージア、アトランタの文化などに触れた作文を児童生徒から募集。総領事公邸での発表。委員会が発足した段階で領事館に通知をしておく。共催日本語学校とする。

F) 教育講演会について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・田村領事

2月21日 外務省人事課 子女教育相談室の副室長をお迎えして講演を行う。保護者には子どもをとおしてお知らせを配付。日本へ帰国してからの適応など、個人相談にも応じていただけるので多くの方に参加いただきたい。

G) 2003年度会計報告及び2004年度予算編成について・・・・・・・・岩淵会計担当運営委員

2003年 推定実績

収入の部 - 当初スタート時点では、企業等の寄附金は予算上計上していなかったもので、その分がプラスの要因となっている。

支出の部 - カウンセラーの不採用、教職員報酬、文化活動費の減に対しグランドの整備費の支出があった。他の項目でも支出の削減に努めてもらっている。

2004年度対2003年度の推定実績

収入の部 - 今日現在の進級予定の人数で試算すると授業料の収入減は免れない。

支出の部 - 支出の大きな部分を占める教職員報酬は、ベースアップなしで人員は同数で試算している。今後2月末までに人数の変化は充分考えられる。教場借用料の回数による支出減(43回から42回)があるが、カウンセラーの再採用、30周年記念式典に関する費用などの項目が主な支出になっている。

今後も予算の見直しは随時行い運営委員長、副運営委員長、総務担当運営委員との会合を持ち(1月21日予定)最終の予算案を練り、次回運営委員会(2月28日)で最終予算を決定する。

H) その他

岩淵会計担当運営委員の2月末転勤が決定。後任の会計担当運営委員の人選をしていただく。次年度の運営委員候補の人選も併せて行う。候補の該当者がいる場合は事務局に通知する。

1月17日 1日領事サ - ビスを行ったが、86名の参加者があり今後も定期的に行いたい。学校のサポートに感謝したい。(田村領事)
父母総会用の各委員の原稿は、2月の第1週までに事務局宛送付する。

以上